決算に対する討論

平成17年度決算は、起立多数をもって認定されましたが、5名の議員が各会派を代表して、同決算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

海友クラブ　賛成

一般会計・4特別会計決算について財政状況向上への取り組みを評価します。

▽防犯対策充実事業補助金は、今後も継続をお願いします。▽敬老ふれあい事業について、対象者の出席率の向上と、助成額の見直しや、自治会等の要望に対し配慮をお願いします。▽契約事務について、条件付一般競争入札に移行されましたが、市内商工業者の育成・優先について配慮をお願いします。▽海老名駅自由通路整備事業、鉄道立体交差事業については、早期の完成を願います。▽プレミアム映画祭は文化的な趣向を取り入れるためにも関係団体との協調が必要と考えます。▽国民健康保険事業、介護保険事業については保険料の収納対策に、老人保険医療事業については、後期高齢者医療制度の創設に向け、万全を期していただくようお願いします。▽公共下水道については、快適な生活環境の実現のため市内全域の施設整備に努めていただきたいと思います。▽小学校教師の買春事件については、今後も同様の事件が起きないよう責任ある対応を、市長が自ら指揮をとり、名誉挽回するよう強く望みます。

市政クラブ　賛成

賛成の立場から評価と要望をします。

▽平成17年度は、「防災・防犯・交通安全の年」ということで、安全・安心指導員の配置やえびな安全・安心メールサービスが導入されましたが、これまでにない事業であり高く評価します。▽健康で生きがいにみちたまちづくりを目指し、次世代育成計画の推進、市立保育所の保育時間の延長、シルバー人材センターの事業拡大など福祉充実に向けた取り組みを評価します。▽小学校1年生の35人学級の導入、私立保育園へ通園する子どもを持つ親に対する助成金の引上げ、小中学校校舎耐震補強工事の工期の前倒しについて評価します。▽市税の収納率確保、特に国保税については最大限の努力をお願いします。▽市内中小企業者が優遇措置のある金融商品を有効活用できるよう、商工会議所の相談体制を充実するよう要望します。▽地震対策について、木造住宅改修事業は、市民に対して十分なPRを行うとともに、災害避難所の設備充実を図るようお願いします。▽厚木駅前の電気店跡地が取得できなかったことは後生に悔いを残すと考えます。

共産党　反対

決算の中には評価できる点もありますが、基本的な税金の使い方の問題で到底認められません。

▽基金は、大型公共事業のために使うのではなく市民からの多くの要求解決に活用すべきです。▽下水道使用料金の8・3％の値上げは、大口事業所の料金体系を抜本的に是正すれば、避けられたはずです。▽小田急等が造るべき「自由通路」を市が肩代わりすることはあってはならないことです。▽工場排水等分析調査委託の入札で落札率が100％であることをはじめ、市民に説明がつかない入札制度を改革すべきです。▽年金所得者も給与所得者も収入は増えない中、負担ばかり増えて大変なので国民健康保険税の介護分の値上げは反対です。▽療養型医療施設等の居住費と食費、ショートステイの滞在費、食費、デイサービスやデイケアの食費も全額自己負担となりました。少なくとも食費だけでも助成をして安心して施設等が利用できるようにすべきです。▽わずかな財源で教師や生徒にゆとりができるのですから、35人学級を早急に実現すべきです。▽小中学校の自校方式給食を実現すべきです。

公明党　賛成

平成17年度決算について賛成します。

▽当初予算では、強気とさえ思えた法人市民税徴収はそれ以上の増収でした。正確な税収の読みは、そのままその年の事業計画に直結します。引き続き精度の高い税収見込みを。▽まちづくり交付金は事業費の4割を補助、残りを予算立てする必要があることから、市はこの交付金を積極活用できる体力があることを証明しています。今後もバランス良い補助金獲得に努力を。▽予算の執行残を不用額とせず、早期に実現したい市民要望や自治会要望等のための使用に更なる努力を。▽土地開発公社所有の土地の買い上げ、蓼科荘の借地返還等、市政運営のフットワークを軽くするために、3年間で30億を超す予算を投じて決着をつけた内野市長の英断を高く評価します。▽包括予算制度の目的は、市民が求める方向に予算を重点配分することにあります。より一層成果を引き出せる制度となるよう、さらなる研究を。▽自立・共生都市という目標に向かって、ここ数年の緊縮財政から、大きく舵取りを変えなければならないときには、内野市長の英断を期待します。

ネット　賛成

一般会計並びに4特別会計決算について賛成します。

▽市民参加条例が制定され、大きな前進と評価しますが、政策決定過程での市民意思の反映を後退させないためにも、パートナーシップ協定のような一定のルール化が必要になると考えます。本格運行となったコミバス国分ルートは、運行行程が変わったことによって使いづらくなっていないか、常に検証していただきたい。▽えびな新障害者プラン2010の策定による多くの新規事業の創設を評価します。今後は自立支援法の制定に伴い、障害者福祉計画策定への市民参加が図られるよう要望します。▽小学校1年生のクラスに35人学級の実施は画期的で、今年度は小学2年生にも拡大しました。来年度は中学校にも広げられることを望みます。また、障がい児の普通学級受け入れを少しでも進め、特別支援補助指導員の配置等、十分な指導体制を整えていただきたい。▽ごみの収集体制の変更で、資源分別が進み、可燃ごみが減りましたが、家庭生ごみ再利用実験の中止は大きな後退です。生ごみ・剪定枝の堆肥化を積極的に進めていただきたい。

平成17年度　歳入歳出決算の状況　（金額の単位は円）

区分	歳入決算額	対前年度伸率	歳出決算額	対前年度伸率	歳入歳出差引額
一般会計	36,506,737,993	5.2％	35,114,235,613	7.3％	1,392,502,380
特別会計	20,988,749,747	8.0％	20,250,002,861	7.0％	738,746,886
国民健康保険事業	9,517,406,126	11.4％	9,215,637,834	8.9％	301,768,292
下水道事業	3,355,270,569	10.3％	3,067,208,768	8.3％	288,061,801
老人保健医療事業	4,731,789,490	0.6％	4,685,488,602	1.0％	46,300,888
介護保険事業	3,384,283,562	7.8％	3,281,667,657	9.6％	102,615,905
合計	57,495,487,740	6.2％	55,364,238,474	7.2％	2,131,249,266

詳しい内容は会議録で

9月定例会の会議録を作成中です。12月には市役所1階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。市のホームページでも見る事ができます。

平成18年度補正予算を可決

○一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ7億6353万5000円を追加し、予算総額を342億5053万5000円とするものです。

歳出の主なものは、（仮称）高齢者生きがい会館整備事業費（約3060万円）、消防署北分署の建てかえに伴う用地購入費（約1億8300万円）、全国消防操法大会に消防団第14分団が出場するに当たっての派遣費（約266万円）、（仮称）南伸道路整備事業に係る物件補償費（約1億3000万円）、および財政調整基金への積み立て（約1億2000万円）などが予算化されました。

○国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

歳入において、医療制度改革による保険財政安定化事業交付金、一般会計からの繰入金の増額、歳出において、出産育児一時金の増額などにより、それぞれ5億5329万1000円を追加し、予算総額を104億5038万8000円とするものです。

○下水道事業特別会計補正予算（第2号）

予算総額の増減はなく歳入において、一般会計繰入金を1億5134万2000円減額し、繰越金を同額の増とするものです。

○老人保健医療事業特別会計補正予算（第1号）

歳入において、前年度決算の調製による繰越金の増額、並びに前年度医療費交付金等の精算確定に伴う国庫支出金、県支出金の増額、歳出において、支払基金医療費交付金等返還金および、一般会計への繰出金の増額により、それぞれ1億574万3000円を追加し、予算総額を45億9772万円とするものです。

○介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

歳入において、地域支援事業に係る一般会計繰入金の増額、および前年度決算の調製による繰越金の増額、歳出において、前年度決算による剰余金の一部を介護保険給付費等準備基金へ積み立てるための基金積立金の増額、並びに前年度保険給付費の精算確定に伴う国庫支出金および支払基金返還金の増などにより、それぞれ9661万5000円を追加し、予算総額を37億3718万9000円とするものです。

請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、11月22日（水）の午後5時30分までに提出されますと、12月定例会で審査または議員配布されます。

※それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。